



ファルマコム便り



お盆が過ぎると心なしか朝夕の風に秋の気配を感じますが、日中はまだまだ残暑が厳しく、夏の疲れも出てくる時期です。この先は、いよいよ本格的な台風シーズンにも入ります。全国的に降水量は平年並みが多い予想となり、しばらくは熱中症と大雨にも警戒が必要です。新型コロナウイルス感染者数も高止まりのままで、今後の感染拡大の不安も懸念されています。引き続き感染対策をしっかりと行い、体調を崩さないようバランスの良い食事を心がけて元気にお過ごしください。

台風への備えと対応について



台風などで降水量が増えると、水害や土砂災害などが起きる危険性が高まります。日頃からの備えと発生時にどのように対処するかをあらかじめ考えておくことで、被害を軽減することができます。

①調べておこう！

- ★土砂災害危険箇所はないか？
- ★過去の被害状況は？
- ★ハザードマップの確認



②日頃の備え

- ★屋根の瓦、トタン板など破損がないか？
- ★屋根、壁、窓からの雨漏りがないか？
- ★アンテナの傾き、固定の緩みがないか？
- ★プロパンガスボンベが固定されているか？
- ★エアコン室外機が固定されているか？
- ★雨どい、側溝、ベランダの排水溝の詰まりはないか？
- ★雨どいがない窓のガラスに飛散防止用フィルムを貼る
- ★浸水するおそれがある家屋は土のうを準備

③直前に対応できる備え

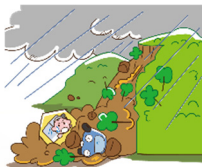
- ★庭、ベランダの飛びやすい物は片付ける
- ★植木は固定する
- ★植木鉢は室内に入れる
- ★物干し台は倒し、物干し竿は地面に置く
- ★シャッターは完全に降ろして施錠する
- ★窓はすべて施錠する
- ★雨戸がある窓は雨戸を閉める
- ★雨戸がない窓は周囲をテープで目張りする
(サッシのレール部に新聞紙を棒状に丸めておく)
- ★風呂の浴槽を水にためる
- ★携帯電話を充電しておく

④防災情報の取得

ラジオやテレビ、気象庁のホームページで発表される防災気象情報を有効に活用することが必要です

⑤土砂災害が起きる前兆現象

- ★山鳴りがする
- ★川の流れがにごり、流木が混ざり始める
- ★雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ★がけや斜面から小石がパラパラと落ちてくる
- ★沢や井戸の水がにごる
- ★地面にひび割れができる
- ★斜面から水が噴き出す



⑥危険な場所から離れる、近づかない

- ★地下は避ける
- ★川から離れる
- ★がけ
- ★冠水した道路



☆家族で話し合おう☆

市町村が公表しているハザードマップをもとに自宅や学校、職場など普段の行動範囲の中で、水害や土砂災害などの可能性がある箇所について家族で話し合っておきましょう。



10月のこよみ

- 1日 法の日
- 10日 スポーツの日
- 14日 鉄道の日
- 17日 貯蓄の日

←利用者様の作品です

- ★ファルマコムでも“川柳を随時募集”しています！★
お便りに掲載させていただきますので
担当ケアマネージャーにお問い合わせくださいませ！

掃
ま
蹴
溜
め
何
散
り
す
行
った
鶏
は

ファルマコム居宅介護支援事業所

〒890-0066

鹿児島市真砂町84番19号

電話

099-258-1314

ホームページ

<http://www.pharmacom.jp/care/>